

大日本武徳会の未来的挑戦

濱田 鉄心

武道・武術の世界において常に要求されるのは洞察的な観念論のみではなく、冷静且つ堅忍不拔な決断と行動力である事は多くの歴史的な事実が証明している。人類の過去数万年に及ぶ盛衰の歴史において

国家間の闘争殺戮や戦争が数限りなく繰り返され、さらにそれぞれの国内の発展途上における内乱紛争などを考えれば想像を絶するほどの闘争を繰り返してきたと言わざるを得ない。これ等の史実は人間の根本的な性悪説の一面を明白に証明していると思われる。現在においても地球上の全ての生物を数千回破壊するほどの核兵器が核保有国に存在する事を考えれば人類の終末論的なアルマゲドン予言は人間の持つ不信感や恐怖心にその所以が見出される。大きなマクロの世界観から現実を見据えてこれから日本が確固たる独立国家として自ら日本の平和と安全を確保しながら恒久的な世界平和達成のためにどのような貢献をするべきかを国民一人一人が考え実行していく必要がある。その過程において日本は国家として内面からもっと強くならなければならないと考える。世界において本質的なリーダーシップを発揮して行くためには物質的な経済力や技術力だけでは不十分である。近代史の中

で和洋折衷の独創的な発展を遂げてきた日本人としての強い誇りと内面的な自信が次世代には必要である。

堪え忍ぶ事を美德としない現在の風潮は次の世代に大きな問題をもたらすことが懸念される。個人と国家の平常心はいかなる難時においても冷静且つ迅速に対応出来る体制にあるという事が理想であるが、それは厳しい練磨研究の成果で備わる事であり至難の業である。過去半世紀以上に及ぶ社会全体の甘えの構造で鈍化された我が国の精神文化の中にメスを入れるのは大変困難な事であるが、各界の指導者は日本の精神文化と意識構造の立て直しを将来的な国家危機として取り組んでいく事が必要であると考える。

その中で歴史的な伝統文化を堅持してきた大日本武徳会が果たさなければならぬ役割は多々あると思われる。法人化した本会はその社会的な人格と責任の上で一層努力をしなければならぬ。本会の未来的展望は現在我々が総力を挙げて何をすべきかにかかっている事は